

サンエー・ビーディーは、ファッションビルを中心に販売するレディスブランド「ジル・バイ・ジルスチュアート」で今春、バッグ単独ショップの出店を始めた。この2年ほど、バッグの販売を強化しており、単独店を出すことで10～30代の幅広い層に訴求、売り上げ拡大を図る。



先月、ルミネ池袋に出したバッグ単独店

サンエー・ビーディー「ジル・バイ・ジルスチュアート」

バッグ単独の出店開始

今春3、3年で10店へ

先月9日に東急百貨店東横店に1号店、25日にルミネ池袋に2号店を出した。今春にもう1店、秋冬に3店で今年中に6店出し、3年をめどに10店体制を目指す。

バッグ単独店の標準売り場面積は約33平方メートルで、SKU（在庫最小管理単位）は50とする。現在の商品構成はバッグ9割、スモールレザーグッズ1割で、今後は少しずつスモールレザーグッズの構成比を高めていく。バッグの中心価格は素材によって異なり、キャンバス8000円、ナイロンやかご9000円

前後、フェイクレザー1万円前後、レザー1万円台後半。今後は、単独店のみで販売する限定商品も出す考えだ。

バッグの販売に力を入れ始めた14年春夏以降、バッグの売り上げは好調に推移している。

当初はポストンバッグとトートバッグを中心に合皮やキャンバス、本革と素材のバリエーションを増やし、16年春夏にはリュックとポーチ、16～17年秋冬には財布とアイテムも拡充してきた。16～17年秋冬のバッグの売り上げは前年比30%増となり、全体の約2割を占めるまで成長した。

バッグを拡販するため、昨年からは東京や大阪でバッグ単独の期間限定店を開設し、検証を重ねてきた。手応えを得たため、今年から本格的に出店を開始。「ブランドの知名度を生かしたコンテンツビジネスの一つ」として、既存顧客だけでなく、服ではつかみきれなかった客層にもアピールする。